

令和6年度使用教科用図書採択

第2回枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

1. 日 時：令和5年6月23日（金）10時00分～12時00分
2. 場 所：輝きプラザきらら 3階 教育委員会室
3. 出席者

(1) 選定委員

さいとう ひろし
齋藤 博 学校教育部次長兼学校教育室長

かばやま さ ゆ り
椀山 佐由里 枚方市立第二中学校長

そがわ み き
十川 美樹 枚方市立香陽小学校長

むらかみ とおる
村上 徹 枚方市立桜丘中学校教頭

はっとり ようすけ
服部 陽介（欠席）枚方市立樟葉小学校教頭

まきむら たけし
牧村 剛 枚方市PTA協議会代表

くりむら ゆ み こ
栗村 由美子（欠席）枚方市PTA協議会代表

(2) 事務局

くつぬぎ よしこ
沓 拔 淑子 学校教育部 教育指導課 主幹

こうさか とみみ
上坂 友美 学校教育部 教育指導課 主幹

たなだ じゅんご
棚田 惇基 学校教育部 教育指導課 主幹

4. 配付書類・資料

- (1) 第2回選定委員会次第
- (2) 第1回選定委員会配付資料一式
- (3) 資料①：令和6年度使用教科用図書選定資料小学校用
- (4) 資料②：令和6年度使用小学校教科書編集趣意書
- (5) 資料③：令和6年度使用教科用図書（小学校）調査の報告について

(6)資料④：令和6年度使用小学校教科用図書発行者別一覧

(7)資料⑤：新学習指導要領のポイント

5. 次第

(1)開会の挨拶

(2)令和6年度使用教科用図書採択に係る経過報告

(3)教科用図書見本等の閲覧

(4)協議

(5)閉会の挨拶

6. 会議内容

[司会進行：教科書担当]

- ・本日、栗村委員、服部委員については、欠席である。枚方市の附属機関条例において、委員の2分の1以上の出席が定められており、本日2分の1以上の出席を超えているため、本会議が成立していることを申し上げる。

(1) 開会の挨拶

[齋藤委員長]

- ・本日議論いただく教科用図書について、学校教育法第34条に「小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。」と示されている。本会議は、小学校での使用義務が課せられている教科用図書の選定に関して、教育委員会に意見を答申していただく極めて重要な会議である。
- ・本日の第2回と今後の選定委員会において、学習指導要領の目標、内容を踏まえ、枚方市の児童にとって最も適切な教科書はどれかという視点で審議し、教育委員会が採択するにあたり有益な意見を答申したいと考えている。
- ・始めに、本日の会議の流れについて確認する。まず、事務局から第1回選定委員会からの経過報告を受ける。次に、「令和6年度使用教科用図書小学校用の見本本」、及び大阪府から送られてきた「令和6年度使用教科用図書選定資料小学校用」をご覧いただき、その後、協議において、選定委員の方々からご意見等を頂きたいと考える。

(2) 令和6年度使用教科用図書採択に係る経過報告

[齋藤委員長]

- ・本日の配付資料の確認及び、第1回選定委員会からの経過報告について、事務局に説明を求める。

[教科書担当]

- ・本日新たにお配りしている資料の確認をさせていただく。まず、資料①令和6年

度使用教科用図書選定資料小学校用、資料②令和6年度使用小学校教科書編集趣意書、資料③令和6年度使用教科用図書（小学校）調査の報告について、資料④令和6年度使用小学校教科用図書発行者別一覧、資料⑤新学習指導要領のポイント。

- ・続いて、前回の選定委員会からこれまでの経過を報告する。前回、第1回教科用図書選定委員会において、小学校の国語、書写、社会（地図も含む）、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、道徳、外国語の12種目について各3名の調査員を置くことを決定していただいた。
- ・種目ごとに、教育委員会が校長を1人、教頭を1人、教諭等を1人、合計3人を、調査員として任命している。そして、令和5年6月7日に第1回調査員全体会を行い、調査にあたっての説明を事務局から行った。
- ・現在、種目ごとに調査員が、それぞれ調査日時を設定し、全発行者の教科書見本本をもとに、大阪府教育委員会が作成した資料①令和6年度使用教科用図書選定資料小学校用を活用し、また、資料②令和6年度使用小学校教科書編集趣意書も参考にしながら、調査を進め、調査報告書にまとめている。資料③は、その報告書の様式である。資料⑤の新学習指導要領のポイントは、大阪府教育庁が作成した資料である。

[齋藤委員長]

- ・調査報告書にまとめるとあったが、その様式、今後の選定委員会の進行について説明を願う。

[教科書担当]

- ・報告書に説明する。資料③の「令和6年度使用教科用図書（小学校）調査の報告について」をご覧いただきたい。左上に種目が記載されており、その横に、調査員3名の所属、職名、氏名が記載されることになっている。その下に、「令和6年度使用教科用図書（小学校）調査事項」、発行者、書名、著作者の欄がある。表の「項目」については、資料①の府の選定資料と同じ、6項目を基本とする。資料①の府の選定資料を活用し、この項目について、適切に観点内容を設定し、学習指導要領の各教科の目標内容等を踏まえて調査研究を行い、その結果を記述する。6つの項目「1. 目標・内容の取扱い」「2. 人権の取扱い」「3. 発達段階への考慮」「4. 組織・配列」「5. 学び方の工夫」「6. 補充的な学習・発展的な学習」に加え、種目によっては市独自の項目を設定する場合もある。この項目についても、学習指導要領の目標及び内容をふまえたものとなる。
- ・6月7日に開催された「枚方市地区第1回小学校調査員全体会」の場では、資料②の「令和6年度使用教科用図書選定資料小学校用」を活用すること。よい特徴の事実を列記すること。各項目における良い特徴が明確に表われるよう、記述をもとめている。それぞれの種目ごとの発行者数及び冊数については、資料④に記

載されている。また、公正かつ主体的に全発行者の教科書について、適切な調査を行うこと。等、作成に当たり、説明を行った。

- ・調査員は、調査結果をこの報告書にまとめ、選定委員会に報告することになる。また、現在行われている各種目の調査は、その調査日時、場所等について、外部に漏れることのないよう、厳重に注意しながら行っているが、開かれた採択の観点から、教科書採択事務が全て終了する予定の8月末日以降、調査報告書は調査員氏名も含めて、枚方市情報公開条例に基づき、公開対象となる。調査員にはその旨、調査員全体会で伝えている。

[齋藤委員長]

- ・各種目の調査員は調査した結果を資料③の報告書にまとめ、本選定委員会に報告するということであるが、前回確認したとおり、次回の選定委員会で、調査員の方から、直接説明を受ける予定で進んでいると考えてよろしいか。

[教科書担当]

- ・各種目の調査員の代表者には、7月上旬に開催される第3回、第4回選定委員会に出席していただき、選定委員の皆様へ直接、報告及び説明をしていただく時間を設けるよう予定している。

[齋藤委員長]

- ・調査員の調査状況及び、今後の予定について、事務局から説明があったが、その他も含め、質問等はないか。

[齋藤委員長]

- ・事務局、第1回選定委員会で説明があった、学校における見本本展示については、現在どのような状況か。

[教科書担当]

- ・教科書採択に対し、広く教職員に関心をもってもらうために、5月19日から7月7日まで、小学校ごとに4日間の期間を設定し、見本本を回覧し、さらに延長を希望する学校には再度の回覧をしているところである。その際、意見書として各発行者の特長や長所等が書かれたものが、教育委員会に提出されるため、必要とあれば、参考資料として提供するようにする。

[齋藤委員長]

- ・各学校の教職員の意見についても、参考にする必要があると考えるが、いかがか。

<異議なし>

[齋藤委員長]

- ・では、各学校からの意見書の内容についても、必要に応じて、報告してもらうこととする。

[齋藤委員長]

- ・その他に質問等はないか。

[十川副委員長]

- ・前回、市民に教科書を見てもらうため、枚方市立教育文化センターにある教科書センターや中央図書館で展示をしていると聞いたが、現在どのような状況か。

[齋藤委員長]

- ・事務局、いかがか。

[教科書担当]

- ・御殿山の教育文化センター及び枚方市立中央図書館において、6月8日から15日まで法定外展示を、そして6月16日から7月1日まで、法定内展示を行っている。昨日までに43人の閲覧者があり、ご意見もいただいていると報告を受けている。

[齋藤委員長]

- ・43人とは、少ない。もっと、広く市民に興味をもっていただけるよう、何らかの工夫が必要である。今回の法定展示は来週土曜日までということだが、今後に向けて、事務局としても、例えば、枚方市公式SNS等を通じて、保護者市民によびかけてもらうなど、もう少し展示の周知について、検討するように願う。
- ・教科書センターにおいても閲覧者の意見が届いているとである。それらについても、我々選定委員は、把握しておく必要があると考えるが、いかがか。

<異議なし>

[齋藤委員長]

- ・教科書センターでの閲覧者の意見についても、各学校において提出された意見書と共に、必要に応じて、報告してもらうこととする。

[齋藤委員長]

- ・その他、小学校教科書採択にかかわる要望や意見はあるか。

[教科書担当]

- ・現在、教科書採択にかかわる要望等は、1件出されている。この内容について、後でご覧いただけるようにする。

[齋藤委員長]

- ・その他に何か質問はないか。

[牧村委員]

- ・保護者の中に、教科書選定に対して熱心な方がおられる。委員会の方にも教科書に関しての文を送っているというようなことを耳にした。どういう形で教科書の選定は行われているのか等。実際にそういった連絡等は入っているのか。

[教科書担当]

- ・確認する。

[齋藤委員長]

- ・他に何か質問等はないか。

<なし>

(3) 教科用図書見本本等の閲覧

[齋藤委員長]

- ・只今より、資料②及び教科書見本本等をご覧いただく時間として、30分間を目途に時間を取ることとする。配布しているメモを活用し、各項目における良い特徴を記入していただきたい。また、それぞれの立場から見て、「子どもたちにとってこんな教科書がいいな。」と思われることを、また学習指導要領における改善のポイントなども念頭におきながら、ご覧いただければと思う。その後、10分間の休憩をはさみ、再開後に、採択についてのご意見をいただく。

(4) 協議

[齋藤委員長]

- ・それでは、再開する。教科書見本本や資料①の令和6年度使用教科用図書選定資料をご覧いただき、感想も含めて意見をお願いします。具体的にこの教科書がよいというのではなく、それぞれの立場から見ていただき、「子どもたちにとってこんな教科書がいいな。」と思うことを挙げていただきたい。

[村上委員]

- ・私自身が中学校の教師であるため、小学校の教科書を見るという機会は少なかったが、色々な教科書を見ていく中で、デジタルコンテンツがどこも充実しているなどという印象を受けた。イラストも多く、子どもが興味を持ち、視覚的に入っていきやすい内容をどこの出版社も取り入れているなど感じた。また、理科の教科書ではSDGsの取り組みや、道徳であればいじめ等を取り上げており、人権的な観点が重視されているように感じた。

[牧村委員]

- ・私自身、娘が小学生であり、小学生の親の目線で見せていただいた。どの教科書も、目で見ても興味を沸かすような工夫がなされていた。私たちが子どもの頃は文字ばかり、写真も白黒といった形であったが、どこの出版社もカラーの写真をしっかりつけており、この中から選ぶことの難しさを感じた。選定において一番に重視したいのは、子ども達が興味を引くことであること。それがポイントだと考える。

[椋山委員]

- ・国語の小学校一年生の導入部分では、自分の名前を書いて紹介するという活動がどこの出版社にもあった。その中で、日本の名前だけでなく、海外の子どもであろう名前も紹介されていた。子ども達が集まっているイラストでも、車いすの子どもが描かれているなど、多様性や、色んな子どもが教室にいることに目を向けられる配慮がなされていた。
- ・また6年生になると、情報や情報収集の仕方が、国語であっても取り上げられているなど、これからの社会を生きていく子ども達への生きる力になるのではと思った。ある出版社では6年生の教科書でも上下巻に分かれており、子ども達の荷物を減らす工夫がなされており、よいと感じた。
- ・算数の1年生の教科書はかわいらしく、色とりどりのイラストが掲載されていたが、その色使いなども目に優しい配色となっていた。

[十川副委員長]

- ・どの出版社も人権的な配慮がなされており、現在使用している教科書よりも、進んでいるという印象を受けた。レイアウトも今の児童に合わせて文字数がおさえられていると思った。また、一時間の内容が見開きで完結するようにページ数も工夫されていた。
- ・また、音楽では今まではイラスト等で描かれていたものが、例えば富士山や鼓が実際の写真で紹介されているなど、日本の国にこのような所があって、歌になっていることをイメージしやすくなっていた。

[齋藤委員長]

- ・イラストを活用して、学習に入りやすい工夫がなされていた。小学校では演じる活動を行うことが多いが、そういった活動に取り組みやすい構成になっていた。国語では図書館や情報機器の活用を見てみたが、児童を本好きにさせるよう様々な工夫が行われていた。
- ・道徳ではどの出版社もいじめや人権的な意識に触れられており、多く取り入れられていた。外国語でも多様な考え方や価値観のちがいを、教科を通じて伝える工夫がなされていた。算数では個別最適化の学習や協同的な学習のそれぞれに工夫が見られた。協同的な学習では、対話的な場面があり、たとえば、この人はこのような考え方で、こちらの人はこのような考え方で、さあどうだろうと、ふきだしを活用しながら対話的な場面を設定するしかけが、どの出版社にも見られた。次回、調査員からどのような教科書の特徴が挙げられるのか楽しみである。

[齋藤委員長]

- ・それでは、本選定委員会としては、次の第3回選定委員会で、各調査員からの報告書に基づいて、答申をまとめていくこととする。
- ・中学校については、文部科学省からの通知に「令和4年度に採択したものと同一の教科書を採択しなければならないこと。」とあることから、現在、枚方市が使用している教科書について、答申をまとめていくこととする。答申をまとめるにあたり、意見はないか。

<なし>

[齋藤委員長]

- ・それでは、次回については、調査員からの報告を受けて、全種目の教科書について審議をお願いする。

[十川副委員長]

- ・本日は、令和6年度使用小学校教科用図書の選定のために、教科書や大阪府の選定資料をご覧いただくとともに、様々なご意見をいただいた。次回は、現在調査員が行っている全種目について報告を受けることとなる。
- ・本市の児童にとって最良の教科書を採択するために、その報告をもとにさらに審議を重ね、教育委員会への答申をまとめることになる。次回も熱心な審議をお願いしたい。

[齋藤委員長]

- ・それでは、第2回選定委員会を終了する。次回の選定委員会は、7月初旬に開催を予定している。